



## 寄贈本コーナー

これまであった寄贈本に、豊原校長先生、大塚教頭先生、松村先生が持ってきてくださった本が加わりました。少し難しい本もありますが、話題になった本や、マンガなどもありますので気になる本があったら、読んでみてください。

『魔法のコンパス』 西野亮廣／主婦と生活社  
 『俺か、俺以外か。』 ROLAND／KADOKAWA  
 『大人の語彙力ノート』 齋藤隆／SBクリエイティブ  
 『くじけないで』 柴田トヨ／飛鳥新社

『タヌキとキツネ』 アタモト フロンティアワークス  
 『マンガてよくわかる 自分を探る超集中力』 メンタリスト DaiGo  
 『置かれた場所で 咲きなさい』 渡辺和子／幻冬舎  
 『いつやるか？今でしょ！』 林修／宝島社

## 12月 貸出冊数

	図書室	いるか号	12月合計	1人平均	累計	目標冊数	達成率
1年生	96冊	27冊	123冊	8.8冊	965冊	1,400冊	68.9%
2年生	109冊	62冊	171冊	10.1冊	1,333冊	1,700冊	78.4%
3年生	165冊	86冊	251冊	12.6冊	1,426冊	2,000冊	71.3%
全体	370冊	175冊	545冊	10.7冊	3,724冊	5,100冊	73.0%

## 冬休みの読書感想より

紹介したい感想がたくさんありました！

『せつない動物図鑑』 いろんな動物のせつない部分がたくさん書いてあり、面白かったです。驚いたのは、シマウマは一人で寝られないということです。

『世界でいちばんやさしい料理』 和を中心とした料理がまとめられてありました。調理時間や難易度も書いてありました。私は、ホットプレートパエリアやさばの味噌煮、きんぴらごぼうを作りました。家族が「美味しいよ」と言ってくれたのでうれしかったです。

『SNS 炎上』 SNS を話題にしたストーリーが3つ書かれてありました。SNS を通して誰とでもつながったり、情報が広がったりと危険がひそんでいることを改めて感じました。

『365日の広告コピー』 引きつけるためにいろいろな工夫がされていてとても面白かったです。私が一番気に入ったのは、「42. 195キロ 私には理想体重に見える」というコピーです。マラソンの距離を今までそんなふうに見たことがなかったので面白いなと思いました。

『県庁おもてなし課』 町を盛り上げるための話でした。その本の中の町が、天草の雰囲気似ていて読みやすかったです。

『村田修一男の引き際』 元々3億円プレイヤーであった村田修一がいきなり球団にクビを告げられました。野球に対する強い思いや、父親として家族のことを大切に思う気持ちが伝わってきました。自分も、何か夢中になれるものを見つけたいです。

『未来への扉』 主人公が大学への進路に悩むけれど、友達に助けられ頑張る姿に感動しました。これから私も進路を決めるときが近づいてくるので、まずは自分の気持ちに素直に、そして強い意志を持って生きたいと思いました。

『意味が分かると鳥肌が立つ体』 怖かったり、面白かったりといろんな感情で読むことができました。ハマりすぎて食事の合間にも読んでしまいました。

『本当に怖いスマホの話』 スマホの課金ゲームの話で、次のステージへ進むために、ポイントをため、どんどんスマホをやめられなくなることが分かりました。ゲームは時間を決めてほしいと思いました。

『天才はあきらめた』 山里亮太さんに共感する部分があり、引き込まれました。あきらめず目標を持って生きようと思いました。





### 読書ビンゴ

冬休みの宿題の、読書ビンゴ達成者には、プレゼントがあります！達成者は伊形まで！